

中国における「池田思想」研究の動向（18）

高橋 強・堀口 真吾

1. 池田思想研究の学術シンポジウム等

(1) 第11回「池田大作思想国際学術シンポジウム」

2021年10月23日、24日に創価大学の創立50周年記念事業の一環として、「人類の共生と世界市民教育」のテーマのもと、同大学キャンパスを中心に各国・地域をオンラインで繋いで上記シンポジウムが開催された。これには計10カ国・地域の52大学・機関から80本の研究論文が提出され、23日の開幕式には、同大学の教職員・学生、研究者ら約350名が参加した。23日午後から24日午前にかけて、7つの中国語分科会と4つの英語分科会がオンラインで開催された。

冒頭、創価大学創立者の池田大作博士からのメッセージが、その後、中国・清華大学高等研究院の顧秉林院長（元学長）とインド・ガンジー研究協会のニーラカント・ラダクリシュナン理事長のビデオメッセージが紹介された。基調講演として、同大学馬場善久学長、中華日本学会の高洪会長、アメリカ・デポール大学池田大作教育研究所のジェイソン・グーラー所長の3名が「世界市民」を育む人間教育の哲学などについて講演した。

ここでは、3名の基調講演の要旨を紹介する。

中華日本学会 高洪会長

池田氏は人間の幸福、平和の方向へ知識を生かしていく本源的な力が、教育であるべきと主張している。氏は1990年代の講演で、生命の相関性を認識する「智慧の人」、差異を尊重し、成長の糧とする「勇気の人」、人々と同苦し、連帯する「慈悲の人」を育むという、示唆に富む世界市民教育の思想を提起した。このような一国の利害や民族的背景を超越した考え方は、国連の「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の理念とも合致するもので、この点からも氏の卓越した先見性を知ることができる。

池田氏のスケールの大きい思想体系の中で、「人類共生」の理念は、重要な部分を占めている。1992年10月、中国社会科学院での講演の中で、東アジアに流れる「共生のエートス（道徳的気

Tsuyoshi Takahashi（創価大学文学部教授）

Shingo Horiguchi（池田大作記念創価教育研究所）

風)」、すなわち「対立」よりも「調和」、「分裂」よりも「結合」、「我」よりも「我々」を基調に、人間同士や人間と自然が、共に支え合って繁栄していく思想に触れ、生命尊厳の価値観や慈悲と平等の理念を強調するとともに、調和と共生の思想的源流を指摘した。本年初頭、習近平国家主席は「人類運命共同体」の構築へ、一貫して対話を堅持する重要性に言及した。氏の考え方も通底する。

これまで文明の繁栄は、常に思想によって牽引され、特に教育は何物にも代え難い重要な役割を担ってきた。私たちは今後、文明同士の交流によって東洋の知恵を生かしながら、新たな教育思想をもって時代を進歩させなければならない。それが「人類の永遠の勝利」に通じる道だと確信する。

アメリカ・デポール大学池田大作教育研究所 ジェイソン・グーラー所長

池田氏は、人々が差異を超越した人間性に目覚めるための資質として、「世界市民」のアイデンティティーを主張した。これは、牧口常三郎氏、戸田城聖氏の哲学であるとともに、池田氏が1960年の初渡米の折、シカゴで不公平な人種差別を目撃した体験に基づくもので、人間の心に巣くう偏見を取り除くために、世界的連帯の必要性を呼び覚ました。氏は1996年に行われたアメリカ・コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジでの講演で、「世界市民教育」を提唱した。氏は「智慧」「勇気」「慈悲」の重要性を説いたことから分かるように、人々を分断する障壁を乗り越えるために、根本的な人間性の向上に重きを置いた。この人間性の探究については、あらゆる差異を成長の糧にすることを促すものと主張している。氏にとって「世界市民」とは、相手がどのような人であっても、自分が関わり続けることで、他者の生命の尊極なる「善性」を引き出そうとする挑戦の中に存在する。加えて、人間の潜在的な能力の発揮は他者との差異を恐れる心によって妨げられるからこそ、「世界市民」の要件として「勇気」を重視する氏の理念は、過去に類例のない素晴らしいものだと申し上げたい。

国連のSDGs（持続可能な開発目標）達成への挑戦が幕を開けた2010年代、池田氏は「智慧」「勇気」「慈悲」の原理のもと、気候変動問題に挑むための資質とともに、世界市民教育の重要性を改めて訴えた。そこには“相手を思いやる想像力”や“足元の地域での実践”など、価値創造の知恵に根差した行動の精神が脈打っている。

創価大学 馬場善久学長

本学の世界市民教育において重要な意味をもつのが、1996年に創立者池田大作先生がアメリカ・コロンビア大学ティーチャーズ・カレッジで行った「世界市民」に関する講演である。1970年代から創立者は「世界市民」の資質として「平和に貢献すること」を特に強調しており、さまざまな問題を解決するには、国連の機能強化が必要であると訴えている。1987年の「SGIの日」記念提言では、1991年から10年間を「国連世界市民教育の10年」として取り組むことを提案され、1988年には「世界市民憲章」の制定を訴えた。約20年にわたる創立者の考察が同講演に結実し

たとえられる。この講演は創価大学の未来の方向性を考える上でも重要である。

1996年の講演の中で創立者は、価値創造力を「いかなる環境にあっても、そこに意味を見だし、自分自身を強め、そして、他者の幸福へ貢献しゆく力」と定義している。そして、「地球規模で価値創造できる人間」の要件として、生命の相関性を深く認識しゆく「智慧の人」、人種や民族、文化の差異を尊重する「勇気の人」、苦しんでいる人々にも同苦し、連帯しゆく「慈悲の人」との定義を挙げている。

以下は提出された論文である。(参加者用ホームページの掲載順、敬称略)

「人類の共生」セッション

- 蔡瑞燕「池田大作人類共生思想の基本的な内包」(仲愷農業工程学院)
冉毅「評論：池田大作の『新人道主義』の価値志向」(湖南師範大学)
叢曉波「池田大作幸福思想におけるいくつかの支点——幸福の本質とともに」(創価大学)
紀亜光「池田大作生態文明観における人類への眼差し」(南開大学)
田毅鵬「東アジア共生思想体系における池田の『共生観』及び社会的啓発」(吉林大学)
黄順力「池田大作平和主義『民間外交』思想の分析」(厦門大学)
温憲元「『人類運命共同体』から見る人類共生：理念と革新実践」(広東省社会科学院)
王澤應「池田大作共生主義論理価値観の考察」(湖南師範大学)
徐行「人類の文明共生と平和発展の推進に尽力——周恩来と池田大作の中日民間外交に対する歴史的貢献」(南開大学)
周長山「世界市民教育理念の実践と人類運命共同体の構築」(広西師範大学)
河暎愛「趙永植と池田大作の人類共栄(共生)思想と世界市民教育の実践」(韓国・慶熙大学)
官建生「人類運命共同体構築の鍵は人間のグローバル化」(韶関学院)

「世界市民教育」セッション

- 王麗榮、湯煥坤「グローバルガバナンスから見る世界市民教育研究」(中山大學)
陳曉春、肖雪、鄭浩睿「共生、共創、共享：池田大作『世界市民』教育思想の現代価値と実践方途」(湖南大学)
蔣菊「世界市民教育と教師の使命」(肇慶学院)
李鋒「池田大作の平和思想観に基づいた世界市民教育研究」(佛山科技学院)
李丹「『価値創造を実践する』世界市民の育成——創価大学グランドデザイン(2021-2030)に基づく考察」(創価大学)
高岳倫「平凡な市民から非凡な世界市民への育成 池田大作の『世界市民教育観』論」(仲愷農業工程学院)
洪剛「池田大作の『国際理解教育』思想」(大連海事大学)

高橋強「池田大作の『世界市民3要件』と文化対話主義」(創価大学)

章舜欽「池田大作『世界市民』教育と人類運命共同体の構築」(厦門大学)

「人類運命共同体」セッション

張艶涛「池田大作の生命尊厳観と人類運命思想を探る」(天津社会科学院)

葛建華「池田大作『東アジア共同体』思想を探る」(厦門大学)

陳志興「多元文化の理解と対話：人類運命共同体構築の基本方途」(南昌大学)

賈凱「池田大作 SGI の日記念提言における『東アジア共同体』思想に関する一考察」(厦門大学)

陳秀武「池田大作の『相互依存性』原理と『海上運命共同体』の関係」(東北師範大学)

汪鴻祥「新型コロナ下における中日関係の課題と展望——池田大作中日友好思想の啓発的意義を論じる」(創価大学)

張昌玉「池田大作の人類平和共生思想を論じる」(中国人民大学)

「平和主義」セッション

賈蕙萱、伊佐進一「平和を叫ぶ中日対談」(北京大学)

王鉄軍「池田大作の平和教育思想の源泉」(遼寧大学)

栢根興「世界平和と中日友好——池田大作の中日友好関係への貢献を論じる」(陝西師範大学)

張曉剛「池田大作の世界平和思想と中国伝統の和合思想の比較」(長春師範大学)

胡金定「日中友好の根底にある池田大作の反戦平和思想」(日本・甲南大学)

周致宏「池田大作の建学理念から見る平和主義思想」(遼寧大学)

崔学森「日本の連立政権における公明党の役割」(大連外国語大学)

「文化主義」セッション

宋成有「中国文明論の考察と新たな開拓」(北京大学)

林昶「中国の池田研究と『池田現象』」(南京大学)

鐘明華「池田大作の文明観と21世紀の文明発展」(中山大學)

姜維公、孫妍「池田大作の中国観を分析する」(長春師範大学)

馬利中「新時代に向かう東アジアの発展する『文化力』と『精神のシルクロード』構築——池田大作『文化主義』思想の内包」(上海大学)

夏広興「『共生のエートス』から見る池田大作先生の文明観」(上海師範大学)

陳多友「池田大作の文学の特徴を論じる」(広東外語外貿大学)

李俄憲、吳江舒悦「池田大作の児童文学における倫理教育価値の研究」(華中師範大学)

董芳勝「音楽芸術による『人間革命』論の実践研究についての一考察——音楽的感性の働きかけと人生哲学形成との関係性を中心に」(創価大学)

「教育主義」セッション

- 曲徳林、楊艦「人類共生理念の世界的影響力——池田大作の『人間主義教育観』考察」(清華大学)
- 李彦良、劉廷揚「中国文化大学主催第七回青年フォーラムの回顧と展望」(中国文化大学)
- 劉愛君「池田大作思想が中国の大学生に与える影響——大連工業大学の実践を中心として」(大連工業大学)
- 馬樹茂、張少波「池田大作先生の教育思想考察——西安培華学院の教員、学生が読んだ『青年抄』を例に」(西安培華学院)
- 松永源二郎「今後の外国語教育のあり方と異文化間コミュニケーション——池田思想のヒューマニズムを手掛かりに」(深圳大学)
- 劉卓紅、劉倩「徳を尊び、徳を守り、徳を行う——池田大作の人間教育思想から見る大学の立徳樹人(徳を持って人を育てる)多角的視覚」(華南師範大学)
- 陳永剛「中日青年文化交流における周池精神の時代的価値と実践方途」(南開大学)

「人間主義」セッション

- 唐彦博「池田大作の持続可能発展観の宣揚」(中国科技大学)
- 曾建平「環境保護と人間革命——池田大作環境思想研究」(井岡山大学)
- 羅国振、張海娜、張舒「池田大作の生態観と日本の生活ゴミ分類の関係を探る——東京都八王子市生活ゴミ分類の上海への啓発」(華東師範大学)
- 蔡立彬、常紅「人類強化(Human Enhancement)技術における生命尊厳と平和共生——池田大作思想研究」(仲愷農業工程学院)
- 陶金「日蓮『女人成仏論』が池田大作の女性観に与えた影響」(大連海事大学)
- 呉迪「中道主義に基づく人間革命理論が人文社会科学研究に与える啓発」(日本・慶応義塾大学)
- 松森秀幸「近代日本『色心不二』思想の展開——池田大作の『色心不二』説(1970年代まで)を中心に」(創価大学)

「Global Citizenship」セッション

- Ana B. García-Varela, Alejandro Iborra, Luana Bruno「Teachers Competences for Global Citizenship Education」(スペイン・アルカラ大学)
- Chung-Shig Shin「A Study of “the Global Citizen Project” for the College Education」(韓国・慶熙大学)
- Lewis Ngesu & Erastus Mwove Nzou「Value Creating Education for Global Citizenship: The Way Forward for Kenya」(ケニア・ナイロビ大学)
- Stephanie Kukita「Exploring Soka University Students' Perspectives on Global Citizenship」(創価大学)

「Social Problems」セッション

R. Sandhya Lakshmi 「Toward A Better World—A Ecocritical Analysis of Short Stories of Dr. Daisaku Ikeda」(インド・創価池田女子大学)

Yong-Seung Park 「B4P (Business for Peace) Effects of Wisdom-Unleashing Company: Towards Practice of Responsible Management Education in Spirit of SOKA」(韓国・慶熙大学)

Masaru Osanai 「Enhancement of Educational Function of Local Societies to Build a “Society for Education,” through the Participation And Contribution to Local Education by Corporations and Organizations (and Individuals)」(創価大学)

「Dialogue」セッション

Irina Boldonova 「Hermeneutic Approach in Dialogues of Daisaku Ikeda and Arnold Toynbee」(南開大学)

Lillian I & Jason Goulah 「Dialogue, Hope and Joy: Enacting Daisaku Ikeda’s Philosophy with Youth and Scholars at the Ikeda Center for Peace, Learning and Dialogue」(アメリカ・池田国際対話センター)

Eun Sun Lee 「Civil Society as a Policy Entrepreneur of Peace Building: Strategy based on the Implementation Model of Daisaku Ikeda」(韓国・慶尚大学)

「Educational Practices」セッション

Nozomi Inukai 「創価的観点から見た『よい教師』の『在り方』と『実践』: アメリカ創価大学の事例研究」(アメリカ・デポール大学)

Tamy Kobashikawa, Tais Tokusato 「世界市民と環境教育: 創価研究所——アマゾン環境研究センター (アマゾン創価研究所) の事例研究」(ブラジル・創価研究所アマゾン環境研究センター)

Paul Sherman, Olivia Boukydis 「創価教育理論の枠組みにおける学部レベル経験学習についての視点フレーム形成 [フレーミング] について」(カナダ・ゲルフ・ハンバー大学)

Hiroko Tomioka 「創価教育の歴史と概説: 実践的意義」(創価大学)

(2) 「池田大作と文明間の相互参考国際学術シンポジウム」

2021年9月25日、山東大学で「池田大作と文明間の相互参考国際学術シンポジウム——人類運命共同体の下での東アジアの知恵」が開催され以下の発表があった。

松岡幹夫 「すべてを生かす——池田思想の三つの特徴」(日本・東日本国際大学)

汪鴻祥 「池田大作文明融合思想内容と意義」(創価大学)

張耀南・王開心「白璧徳、張東蓀、池田大作、三つの『中道哲学』比較研究の再検討」(北京航空航天大学)

高橋強「多様性を『融合』『創造』に転換する智慧に関する一考察」(創価大学)

大崎素史「池田先生の『対人関係』思想——その具体的事例への考察」(日本・東日本国際大学)

陶金「平和・対話と二十一世紀の女性——池田先生の現代女性観」(大連海事大学)

王麗榮・湯煥坤「グローバルな管理視点での世界公民教育研究」(中山大学)

馬思偉・王麗榮「人類運命共同体視角下の生命尊厳教育——学校学生心理健康教育の実践思考」(広州南方学院)

戴逢紅・劉嶺峰「黄龍禪宗の本土形成と海外発展」(佛山科学技術学院)

胡嘉明「調和とは? (訳文)」(貴州大学)

(3) 山東大学で「池田大作研究所」設立記念学術会議

2021年1月8日、山東大学哲学・社会発展学院「池田大作研究所」設立決定を記念する学術会議が「東アジアと世界」をテーマに、同大学のキャンパスで開催された。学術会議では、同学院の劉森林院長が、両国を結ぶ懸け橋として貢献を果たしてきた同大学の役割に言及し、今後も日本および東アジア研究の先頭に立つ使命を全うしていきたいと強調した。

同研究所所長の傅永軍教授は、他大学との交流を力強く推進しつつ、池田思想の卓越性の研究を通して、人類全体の進むべき針路を探し出していきたいと述べた。

(4) その他(学部生、院生、学生団体等のシンポジウム)

①大連工業大学で読書会 創価大学創立50周年を祝福

2021年3月30日、4月1日の両日にわたり、創価大学創立50周年を祝福する日本語読書交流会が大連工業大学外国語学院で行われた。同大学の「池田大作読書会」の学生らが参加した交流会では、同大学「池田大作思想研究所」の劉愛君所長が創価大学との友好交流の歩みに触れながら、読書会の活動は、学生の人間的成長と実践的な言語能力の向上に、多大な良い影響を与えてきたと強調した。研究所の設立から10周年となる本年を新たなスタートとして、池田博士の平和理念と行動を継承し、中日両国の友好に一段と貢献していく人材に成長をと望んだ。その後、池田博士の箴言集『人生の座標』を研鑽資料として、「語学の学習と国際交流」などをテーマに、グループディスカッションを行った。

②仲愷農業工程学院「廖池会」が発足6周年の集い

2021年5月30日、仲愷農業工程学院の学生団体「廖承志・池田大作研究会(廖池会)」の発足6周年を祝賀する集いがオンラインで行われた。同学院「廖承志・池田大作研究センター」の蔡立彬副主任が、互いの連携を一段と強め、成長の歴史を築こうと述べ、高岳倫主任が、池田思想の研究を通し、一人一人が世界平和に貢献しゆく実力を磨いてほしいと語った。

2. 新設の池田大作研究機関

機 関 名：山東大学哲学社会発展学院「池田大作研究所」

設 立：2020年12月20日

所 長：傅永軍教授、事務長：李海濤副教授、研究員：牛建科教授、邢永鳳教授、陳堅教授

設立趣旨：日本の哲学・宗教に関する基礎研究を踏まえながら、池田先生の仏教観や文化観、東アジアにおける哲学的基盤などを探求し、中日の相互理解のさらなる促進を目指す

機 関 名：信陽師範大学「池田大作・日本研究所」

設 立：2021年3月10日

主 任：張鴻鵬講師（外国語学院系主任）、研究員：郭敏副教授、薛曉燕講師、吳恒講師、李靜講師

設立趣旨：1. 池田大作平和主義思想研究 2. 日本社会・文化研究 3. 中日国際関係研究
4. 日本経営学研究

3. 池田研究の成果等

- ・ 中国教育部の雑誌「国際学術会議動態」（2021年第3期（総第234期））に、2020年8月東北師範大学で行われた「池田先生名誉博士20周年記念国際シンポジウム」に関する、同大学池田大作哲学研究所王明兵所長の報告が掲載された。
- ・ 井岡山大学曾建平学長による単著『環境保護と人間革命 池田大作環境思想研究』（江西教育出版社2021年10月）が出版された。
- ・ 北京大学国際合作部と創価大学の共同出版による『「北京大学桜」は永遠に——創価大学と北京大学の学術交流40年史』（日本東方出版社2021年11月）が出版された。
- ・ 北京大学池田大作研究会賈蕙萱元会長が、第3回中日三国文化交流與旅游合作国際論壇2021冬（2021年12月26日）で「池田大作眼中的三国文化」と題し講演を行った。